

＜ 報 告 事 項 ＞

I. 2019 年度活動経過報告（掲載は省略させていただきます）

1. 各種会議の開催
2. 本支店・出張所推進委員会総会への出席
3. 本支店・出張所推進委員会のイベント・独自行事

II. 2019 年度推進活動総括

全道推進会議は、「ろうきん中期経営計画〈2018～2020 年度〉」の中間年度にあたる 2019 年度の活動として、“つなぐ”をキーワードとした「しあわせの循環の創造」に向け、会員・推進機構と一体となった「会員組合員メインバンク No.1 運動」を展開しました。

具体的には、全道推進会議：3 ヶ年運動方針〈2018～2020〉に基づき、つなぐプロジェクトを運動の機軸とした取組みを展開した結果、多くの営業店(推進委員会)にて掲げた目標を達成するなど、大きな成果となりました。また、労福協と連携した「職場推進委員会の設置・活性化」の取組みにおいても、着実な運動展開が図られました。

一方、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、ろうきんを取り巻く現状や予想される環境変化等を踏まえ、次年度に向けた活動に検討課題を残す状況となりました。

1. つなぐプロジェクト推進運動 ～会員自主目標推進運動の取組深化～

(1) 2019 年度の取組み

「つなぐプロジェクト」対象項目の新規実績は、年間目標 46,070 件に対し、年間実績が 54,992 件となり、大きな運動の成果となりました。

＜2019 年度実績＞

(単位：件、%)

| 年間目標 | 年間実績 | 達成率 |
|--------|--------|-----|
| 46,070 | 54,992 | 119 |

＜項目ごとの実績＞

(単位：件、%)

| No | 項 目 | 年間目標 | 年間実績 | 達成率 |
|----|---------------------------|--------|--------|-----|
| ① | メイン化（給振・年金・公振・クレジット） | 18,350 | 22,021 | 120 |
| ② | 預金（財形・エース・お子さま口座） | 8,311 | 9,845 | 118 |
| ③ | 融資（団体融資・手形貸付等除く） | 17,379 | 21,183 | 122 |
| ④ | 預かり資産（個人型DC新規・投信契約者数・国債新） | 2,030 | 1,943 | 96 |
| | 合 計 | 46,070 | 54,992 | 119 |

(2) 本支店・出張所推進委員会表彰

- ① つなぐプロジェクト目標達成率 100%超の推進委員会を表彰します。

② 表彰推進委員会は、34 推進委員会のうち、以下の 27 推進委員会となりました。

なお、第一位には「旭川支店推進委員会」が選ばれております。

③ 今年度の各店推進委員会イベントは中止となるため、表彰金支給は 2021 年度とします。

(3) 地元の NPO 団体等への寄付

① 「つなぐプロジェクト」対象項目の利用実績に応じた各地域への福祉団体への寄付額は 5,499 千円となりました。

② 各推進委員会の寄付額は、162,000 円となりました。

※[計算式]5,499,200 円÷34 本支店・出張所推進委員会=161,741 円≒162,000 円(千円未満切り上げ)

| 年間目標 | 寄付項目 | 寄付額 |
|--------|------------------|-------------|
| 金庫全体 | 「つなぐプロジェクト」寄付総額 | 5,499,200 円 |
| 各推進委員会 | 「各店・出張所推進委員会」寄付額 | 162,000 円 |

③ 新型コロナウイルス感染症の影響により、各店推進委員会総会の書面決議による寄付団体決定が 10 月中旬となるため、NPO 団体等への寄付は 12 月を予定します。

(4) 会員自主目標推進運動の展開【資料 2】

① つなぐプロジェクトの取組基盤となる会員自主目標推進運動は、669 会員（前年同期比+69 会員）での運動展開となりました。

② 自主目標に対する新規実績は、年間自主目標 22,614 件に対し、年間実績が 20,599 件となり、つなぐプロジェクトに繋がる運動展開が図られました。

| 設定会員数 | 年間目標 | 年間実績 | 達成率 |
|--------|----------|----------|-------|
| 669 会員 | 22,614 件 | 20,599 件 | 91.1% |

2. 職域活動費の有効活用

(1) 会員による職域活動費を活用した学習会は 636 回、延べ 17,420 名の出席となり、会員組合員との接点強化が図られました。

(2) 主に、「新人学習会」「若年層学習会」「住宅ローン等商品説明会」「可処分所得向上（高金利ローン借換）に関する学習会」を目的とした活用となりました。

(3) 取組みの結果、職域活動費の活用金額は 29,985,933 円となりました。

3. 推進機構活性化運動の展開

(1) 運動の基盤強化

① 大会議案書等への掲載

労福協福祉向上キャンペーンにより、「大会議案書へのろうきん運動の方針化」と「組合機関紙への商品・サービスの掲載」を、29 の全道推進会議構成産別に要請しました。結果、全道で議案書は 481 会員、組合機関紙は 83 会員での掲載となりまし

た。

(2) 「ナショナルセンター」「労福協」「青年・女性委員会」との連携

① 職場推進委員会の設置・活性化【資料4参照】

職場推進委員会の設置・活性化の取組みは、連合構成組織に対し、労福協と連携した運動を展開しました。主に北教組・NTT 労組・JP 労組を中心に、推進委員会活動の定着化の取組みを行った結果、職場推進委員会設置数は 483 会員（前年同期比+47 会員）となりました。

② 青年・女性委員会との連携

連合女性委員会と連携し、6 月に開催された「2019 男女雇用機会均等法集会」にて、「可処分所得向上運動」「SDG s の取組み」を議題化し、全体で共有しました。

また、連合青年委員会とは、10 月に開催された「ニューリーダー研修」にて、労働者自主福祉運動の取組みを共有しました。

(3) 各店・出張所推進委員会のさらなる活性化の取組み

① 各店・出張所推進委員会総会での「出席会員数の向上」に取組み、総会出席会員数は、全店で 790 会員となりました。

② 札幌西連合支店推進委員会をパイロット推進委員会として選定し、「職場推進委員会設置・活性化」「推進委員会イベントでのお子さま口座推進運動」等を展開頂くとともに、第 4 回全道推進会議 (1/28) にて、好事例の水平展開を目的とした活動報告を実施しました。

4. 「2019 年度生活応援運動」の展開

(1) 生活設計運動の取組み

① お子さま口座保有運動

ろうきん運動を次世代に繋げる観点から、季節キャンペーンと連動した取組みを進めました。

| |
|---------------------|
| お子さま口座新規実績 |
| 2,873 件（前年同期比+23 件） |

② 退職金結集運動

「産別からの退職者情報提供 (8 産別)」「全開発・JP 労組・北教組における機関会議での取組方針化」「説明会・セミナー開催 (82 会員・1,404 名)」など、会員・推進機構による主体的な運動を展開しました。

| |
|--------------------------------|
| 退職金結集金額 (2020 年 3 月末日時点) |
| 174 億 91 百万円 (目標対比+81 億 80 百万) |

③ 季節キャンペーン結集運動

ろうきん運動の原点である一時金の預入について、取組みを実施しました。

| |
|---|
| 2019 季節キャンペーン実績【定期・エース預金新規預入】 |
| 38,408 件・131 億 15 百万円 (前年比+1,043 件・+8 億 52 百万円) |

④ 資産形成運動

ア. 「2019 生涯取引キャンペーン」の展開

組合員の資産形成運動として、財形年金と iDeCo を対象とした「2019 生涯取引キャンペーン」の周知活動を展開しました。

| |
|---|
| 対象商品新規件数 (2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日) |
| 【財形年金新規件数】 5,820 件 【iDeCo 新規件数】 688 件 |

イ. 「投資信託・国債」の推進

学習会等を通して、組合員や退職者の多様なニーズに合致した資産形成の取組みを展開しました。

| |
|--|
| 投資信託・国債新規件数 (2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日) |
| 【投資信託新規件数】 1,427 件 【国債新規件数】 707 件 |

⑤ 「ろうきんアプリ」周知活動

組合員の利便性向上に向け、10 月 22 日から取扱い開始となった「ろうきんアプリ」の周知活動を展開しました。

| |
|--|
| ろうきんアプリ契約件数 (2019 年 10 月 23 日～2020 年 3 月 31 日) |
| 12,787 件 |

(2) 生活改善運動の取組み

① 住宅ローン推進運動

「住きっと！500」等の周知活動により、有担保ローン新規目標額を大きく上回る成果となりました。

| |
|---|
| 有担保ローン新規実績 (2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日) |
| 866 億円 (目標対比+150 億円) |

② 可処分所得向上運動

組合員の可処分所得向上に繋げる運動を展開しました。

| | |
|--------------------------------|------------|
| 学習会開催実績(可処分所得向上運動) | 可処分所得向上額 |
| 【開催回数】 412 件 【参加組合員数】 10,738 名 | 9 億 61 百万円 |

③ 非正規雇用組合員取引拡大運動

2020 年 2 月から、融資商品および資産形成商品 (財形・iDeCo・投信定時定額買付) を契約した方にプレミアムを提供する「全力応援 pack キャンペーン」の周知活動を展開しました。

| |
|--|
| 全力応援 pack のうち(非正規勤労者向け)融資商品の新規件数(2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日) |
| 804 件 (前年同期比▲123 件) |

④ 奨学金借換ローン周知運動

社会問題化している奨学金問題に対し、勤労者のセーフティネットとして、積極的な周知活動を展開しました。

| |
|-------------------------------------|
| 奨学金借換ローン新規実績（2019年4月1日～2020年3月31日） |
| 【件数】75件 【金額】1億70百万円 |
| 奨学金借換ローン累計実績（2017年10月1日～2020年3月31日） |
| 【件数】334件 【金額】8億05百万円 |

(3) 生活防衛運動の取組み

① 多重債務防止運動（学習会・研修会の開催）

多重債務に関する学習会を開催するなかで、組合員の生活防衛に資する取組みを展開しました。

| |
|---------------------------|
| 学習会開催回数（生活防衛運動） |
| 【開催回数】197件 【参加組合員数】5,820人 |

② 多重債務救済運動（相談機能の発揮）

「お客様相談室」「本支店・出張所多重債務相談員」と連携し、多重債務に陥った組合員の相談対応を行いました。

| |
|--------------------------------|
| 多重債務相談件数（2019年4月1日～2020年3月31日） |
| 18件（前年同期比+3件） |

5. ブロック別研修会の開催

(1) 本研修会は、ろうきん運動の担い手となる会員中堅役員ならびに青年女性層組合員を対象に、「ろうきん運動をすすめる意義」の理解を深める貴重な機会と位置づけ、意見交換や学習の場として開催しました。

(2) 研修内容は、①講演「ろうきん運動の原点と全道推進会議の取組み」（江戸議長）、②講演「労働金庫の存在意義」（北海道学園大学 佐藤大輔教授）、③基調報告「ろうきんとSDGs」（北海道労働金庫営業推進部）、④分散会としました。

| ブロック | 日程 | 開催地 | 参加者数 | ろうきん対象営業店 |
|------|-----------|-----|------|------------------------------|
| 空知 | 10月15日(火) | 岩見沢 | 42名 | ①岩見沢、②夕張、③滝川、④砂川、 ⑤赤平、⑥芦別 |
| 道南 | 11月15日(金) | 函館 | 50名 | ①函館、②八雲 |

6. 2019年度の活動に関する「優良会員・個人活動家の表彰」

今年度は、①各店推進委員会総会が書面開催となること、②北海道ろうきんの総会・総代会での「優良会員・個人活動家表彰」が実施されないことにより、2019年度の活動に関する「優良会員・個人活動家の表彰」は、次年度に順延とします。

7. 「ろうきん友の会」「北海道退職者連合」との連携

北海道退職者連合と連携した「年金口座移管運動」の取組みの結果、契約件数は25,647

件(前年同期比+169件)となりました。

Ⅲ. 2019年度決算報告 & 監査報告 (掲載は省略させていただきます)

< 協 議 事 項 >

I. 2020年度推進活動方針(案)

新型コロナウイルスの感染状況は、未だ予断を許さない環境が続いています。

全道推進会議は、このような時だからこそ、協同組織の福祉金融機関である「ろうきん」のセーフティネット機能を活用し、感染拡大防止に最大限取組みつつ、助け合い・支えあいながら、会員・推進機構が一丸となって、この難局を乗り越えていきたいと思えます。

1. 新型コロナウイルス感染症の諸情勢を踏まえた「当面の対応」

(1) 全道推進会議・各店推進委員会

① 現下の状況を踏まえ、9月末まで、「全道推進会議総会」「各店推進委員会総会」については、「書面にて運動方針を確認する扱い(集会形式による会議は中止)」とします。

※10月以降の会議開催可否は、今後の状況を踏まえて判断します。

② 今年度開催予定の「各店推進委員会主催イベント(ファイターズイベント・パークゴルフ・いちご狩り等)」は全て中止とします。

③ 今年度は各店推進委員会の実質的な活動が困難であることから、2020年度の活動に関する「優良会員・個人活動家の表彰」は見送りとします。

④ ブロック別研修会は、参加者への感染防止や会場の受入れ体制等、様々な状況を考慮し、次年度へ順延します。

(対象ブロック：①北見・網走、②後志、③胆振・日高、④宗谷・留萌)

⑤ パイロット推進委員会の選定拡大や取組好事例の共有について、各店推進委員会の実質的な活動が困難であることから見送りとします。

(2) 北海道労働金庫

① 融資対応

ア. 新型コロナウイルス感染症による社会的・経済的影響を勘案し、勤労者セーフティネット機能を発揮すべく、2020年4月1日より「新型コロナウイルス関連特別融資」の取扱いを開始しています。

イ. 北海道との提携融資制度である「ほっかいどう勤労者福祉資金融資」において、新型コロナウイルス感染症の影響を受け休業を余儀なくされた、中小企業従業員および非正規労働者の方を対象に、保証料を免除する取扱いを開始しています。

ウ. 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた組合員からの、ご融資返済に関する相談に対して、「勤労者生活支援特別融資制度」を活用した各種返済条件変更の対応を実施しています。

- ② 社会福祉法人 北海道社会福祉協議会による「生活福祉資金（緊急小口資金）特例貸付」の受付業務（原則、郵送による受付）を開始しています。
- ③ 会員独自の財形募集強化期間設定による取組みは中止となっています（通年募集先のみ）。
- ④ 全道季節（夏・冬）キャンペーンの取組みは中止となっています。

2. 新型コロナウイルス感染症の諸情勢を踏まえた「運動方針」

(1) つなぐプロジェクト推進運動

- ① 今年度より、下記項目が「つなぐプロジェクト」の追加対象項目となっています。

| 追加対象項目 | 寄付 |
|------------------|---|
| 北海道ろうきん ATM 利用件数 | 北海道ろうきん ATM で入金・出金（ローンカード含む）1 回につき 1 円。 |

- ② 今年度は、会員・組合員と一体となった「会員自主目標推進運動」の実施が困難なため、「会員自主目標」の設定・推進を見送ります。
- ③ 地元の NPO 法人等の寄付先は、書面にて開催される本支店・出張所推進委員会総会にて選定します。

(2) 可処分所得向上運動

- ① 連合の進める「クラシノソコアゲ」実現のために、「銀行カードローン問題への対応（当庫マイプランの保有・活用）」「他行高金利ローン借換（クレジットカードのリボ払い含む）」によって、組合員の可処分所得向上に資する運動を展開します。
- ② 協同組合組織や福祉事業団体との連帯により、資金循環の環を広げます。

(3) 職域活動費の効果的な活用

前年同様の対応として、年度予算を 3,000 万円とします。

(4) 生活応援運動の展開

- ① 「生活設計」「生活改善」「生活防衛」運動の取組みについて、新型コロナウイルス感染症による影響を踏まえ、組合員のニーズに沿った取組みとします。
- ② 多重債務に陥った組合員の相談は、「お客様相談室」「本支店・出張所多重債務相談員」と連携し、対応します。

※2020 年 3 月 23 日より、「お客様相談室」は会員取引の拡大や多様な資産形成ニーズへの対応、多重債務をはじめとした社会問題等に対して、より一層の対策強化を図るべく設置されたコンサルティングプラザ内に移転しました。

| | |
|-------------------|--|
| お客様相談室（相談員 1 名常駐） | |
| <フリーダイヤル> | 0120-380-931 |
| <住 所> | 札幌市中央区北 1 条西 5 丁目 3-10 本館 1F コンサルティングプラザ内 |

- (5) 「ろうきん友の会」「北海道退職者連合」との連携
限られた取組みとなりますが、周知活動を中心とした「年金受取口座移管運動」に取り組めます。

II. 2020 年度予算（案）（掲載は省略させていただきます）

1. 「地域活動費」「職域活動費」「事務局費」予算（案）
2. 地域活動費 店別予算（案）

III. 「会員労組を経由する組合員との取引」に関する留意事項（掲載は省略させていただきます）

IV. 役員の変更

<退任役員>

| 役職 | 氏名 | 所 属 |
|------|-----------|-----------------|
| 事務局長 | 小 関 顕 太 郎 | 北海道労働者福祉協議会事務局長 |
| 幹事 | 和 田 真 則 | 北海道教職員組合 |
| 幹事 | 篠 崎 強 | 連合北海道空知地域協議会 |

<新任役員>

| 役職 | 氏名 | 所 属 |
|------|---------|-----------------|
| 副議長 | 根 本 武 志 | 北海道労働者福祉協議会参与 |
| 事務局長 | 紺 野 則 仁 | 北海道労働者福祉協議会事務局長 |
| 幹事 | 江 原 裕 美 | 北海道教職員組合 |
| 幹事 | 渡 邊 一 敏 | 連合北海道空知地域協議会 |

V. 今後の日程

- (1) 9 月末までに開催予定の「推進機構主催の会議」は、「書面にて運動方針を確認する扱い（集会形式による会議は中止）」とします。

※対象：「全道推進会議・各店推進委員会」総会、「道友の会・友の会札幌協議会・各店友の会」総会、各種幹事会など。

- (2) 10 月以降の会議開催可否は、改めて通知します。

以上